

代表者名	伊藤 富彦	所管部課名	農林水産部畜産振興課
所在地	秋田市河辺神内字堂坂2-1	設立年月日	昭和53年6月6日

【沿革及び県の出資理由】

秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家の経営安定と県民生活の向上に寄与する事を目的に、昭和53年6月6日に設立。と畜という広域のかつ公共的な事業を行う会社であることから、県も出資した。

【出資者】（25年度当初） (千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	445,710	33.8
市町村	25	16,000	1.2
その他	6	857,990	65.0
計	32	1,319,700	100.0

【事業】

①主たる業務

1, 肉畜のと殺、解体。 2, 枝肉及び副生物の買い取り並びに受託処理加工。 3, 食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売。 4, 前各号に付帯する一切の事業。 5, 加工品の製造販売に関する事業。

②事業実績 (頭)

事業名等	22年度	23年度	24年度
豚と畜頭数	156,211	153,258	159,012
豚カット頭数	65,648	59,120	70,446

③24年度事業概要及び25年度事業計画・目標

<平成24年度事業概要>

豚と畜159,012頭、牛馬と畜4,248頭、豚カット70,446頭、牛馬カット1,065頭、枝肉・加工品販売高6,345百万円、総売上高6,816百万円

<平成25年度事業計画>

豚と畜168,000頭、牛馬と畜4,150頭、豚カット79,000頭、牛馬カット1,050頭、枝肉・加工品販売高6,622百万円、総売上高7,108百万円

【組織】

①役員数 (H25.7.1現在) (人)

	取締役	監査役
常勤	3	1
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	7	2
内、県退職者		
内、県職員		
計	10	3
内、県関係者		

役員報酬支給対象者数	4人
役員報酬支給対象者平均年齢	57歳
平均役員報酬額	6,038千円/年

②職員数 (H25.4.1現在) (人)

	人数	正職員	正職員
正職員	53		
内、県退職者			
出向職員	2	平均年齢	平均勤続年数
内、県職員		42.1歳	16.0歳
臨時・嘱託	6		
内、県退職者			
計	61	正職員平均年収 (H24)	4,200千円
内、県関係者			

【財務】

①損益状況 (24年度) (千円)

	金額
経常収入 A	6,837,598
受託事業収入	2,000
補助金収入	
自主事業収入	6,777,238
運用益収入	
その他	58,360
経常支出 B	6,828,801
人件費 (役員含む)	345,787
その他	6,483,014
経常損益 C = A - B	8,797
経常外収入	4,750
経常外支出・諸税	5,161
当期損益	8,386

	(千円)
県の損失補償額	
県の債務保証額	

②財務状況 (24年度末) (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	1,008,136	59.8
固定資産	678,338	40.2
資産計	1,686,474	100.0
流動負債	286,893	17.1
短期借入金	1,740	0.1
固定負債	132,212	7.8
長期借入金		
負債計	419,105	24.9
資本金	1,319,700	78.3
剰余金	△ 52,331	△ 3.2
純資産計	1,267,369	75.1
負債・純資産計	1,686,474	100.0

	(千円 %)		
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	176,634	91,305	51.7%

※外部積立(中小企業退職金事業団85,329千円)

【県の財政支出】

	22年度	23年度	24年度	支出目的・対象事業概要等
補助金		653		
委託費		1,206	2,000	秋田県産牛肉の放射性物質検査に係るサブリング等業務委託、ふるさと食材加工開発業務委託、秋田由利牛を活用した商品開発業務委託
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	22年度	23年度	24年度	22-23増減	23-24増減
健全性	自己資本比率	%	78.01	75.62	75.15	△ 2.39	△ 0.47
	借入金依存率	%	0.43	0.26	0.10	△ 0.17	△ 0.16
	流動比率	%	415.86	376.25	351.40	△ 39.61	△ 24.85
	経常収入額	千円	7,113,816	6,420,328	6,837,598	△ 693,488	417,270
収益性	剰余金(△欠損金)	千円	△ 46,539	△ 60,717	△ 52,331	△ 14,178	8,386
	経常利益率	%	0.82	△ 0.16	0.13	△ 0.98	0.29
	総資本利益率	%	3.56	△ 0.61	0.52	△ 4.17	1.13
効率性	総資本回転率		4.36	3.86	4.05	△ 0.50	0.19
	職員1人当たり経常収入額	千円	118,564	108,819	112,092	△ 9,745	3,273
	人件費比率	%	4.64	5.11	5.02	0.47	△ 0.09

2 経営目標の達成状況

経営目標			22年度	23年度	24年度	25年度
経営改善指標	剰余金(千円)	目標	△ 45,000	△ 20,000	△ 40,000	△ 42,000
		実績	△ 46,539	△ 60,717	△ 52,331	
事業成果指標	借入金残高(千円)	目標	110,624	4,399	1,700	0
		実績	6,972	4,356	1,740	
事業成果指標	と畜頭数(豚換算:頭)	目標	175,050	175,050	177,450	180,450
		実績	169,705	166,407	171,756	
	カット頭数(豚換算:頭)	目標	92,500	92,500	82,000	89,500
		実績	75,633	69,465	81,101	
顧客満足度指数	目標		80	87	87	87
	実績		80	68	—	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

1. 経営状況及び課題
 大規模養豚場の規模拡大や、県有種雄牛が全国和牛能力共進会で部門別2位を獲得したことにより市場の評価が高まるなど、明るい話題もあるものの、肥育牛の飼養戸数と出荷頭数が減少しており、集荷環境は依然厳しい状況となった。今後、豚と畜頭数確保が課題となるほか、引き続き販売先の確保と債権管理の徹底に努める。

2. 経営目標の達成状況と自己評価
 生産者の一部廃業等により目標頭数を達成できなかったものの、と畜頭数は5千頭、カット頭数は11千頭前年を上回った。平成25年度からは更に豚の増頭が見込めることから、事業成果指標の改善を図り、健全な経営体質の維持に努める。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>
 調査を継続し、消費者のニーズの把握に努める。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
・豚肉と畜頭数、カット頭数が前年度を上回ったことにより売上高が前年度に比べて408百万円増加し、経常損益段階で18百万円改善したことから、8百万円の当期純利益を計上した。 ・と畜豚は全量買い取りのため、相場の関係で原価より下げて販売するリスクを抱えていることから、と畜頭数の増加は重要であるが、併せて今後とも経費節減を図り、早期に累積欠損金を解消することが求められる。	